

## 保育士

児童福祉の業務の専門性を  
高めていきたい



**築瀬 瞳**

わかあゆ学園

平成 30 年 採用 希望が丘  
こども医療福祉センター  
令和 元年 中央子ども相談センター  
令和 2 年 現所属

### 岐阜県庁を志望された動機を教えてください

母の影響で幼少期から保育士になりたいという思いがあり、幼児教育が学べる大学に進学しました。在学中の保育実習で岐阜県職員にも保育士という職種があることを知り、保育所や幼稚園の職員とは違った立場から子どもたちの支援ができると思い、志望しました。

### 現在の仕事内容を教えてください

わかあゆ学園は県内唯一の児童自立支援施設です。18歳未満の子どもたちが過去の失敗と向き合い、自分自身を変えるために粹のある中で生活しています。私は女子寮職員として子どもたちと生活を共にしながら、日常生活・作業・クラブ活動等の指導を行っています。また、学園内には分校があり、分校の先生方とも連携をとって学習指導にあたっています。

### 働く環境についてはどう思われますか

子どもたちと生活を共にする仕事のため、日勤と宿直業務のほか、土・日・祝日の勤務もあります。プライベートとの両立が難しい部分もありますが、「職場に一歩足を踏み入れたら、学園の子どもたちが最優先」と切り替えて仕事をしています。体力と気力が必要ですが、子どもたちの笑顔と頑張りを糧にすることができる、素敵な職場です。

### 今後実現したい夢はなんですか

引き続き福祉系の職場での経験を重ね、児童福祉の業務の専門性を高めていきたいと思っています。日々学び続ける姿勢を忘れず、より多くの子どもたちの心からの笑顔を引き出すことができる存在になることが私の夢です。

## 水産

水産業界を  
サポートしていきたい



**田中 綾子**

里川振興課

平成 29 年 採用 水産研究所本所  
平成 31 年 水産研究所下呂支所  
令和 2 年 現所属

### 岐阜県庁を志望された動機を教えてください

子供の頃から生き物の観察や採集、飼育が好きで、大学では野外調査を中心に水産や海洋生態について学びました。岐阜県は海なし県ですが、アユやマス類をはじめとした淡水魚は全国有数の漁獲量、生産量を誇ります。大学での学びを活かし、生まれ育った岐阜県の豊かな水産資源の維持、発展に役立ちたいと思い、この仕事を志望しました。

### 岐阜県の技術職員として働く魅力を教えてください

水産の技術職員は、研究所と県庁の両方で勤務する機会があります。研究所は技術開発やその普及、県庁は魚や漁業者、釣り人を増やす取り組みなどを考え様々な事業を行います。水産振興のために、実際に魚を手にする現場での仕事から新たな仕組み作りにも携わる仕事まで、幅広い視点から携わることができる事が技術職の魅力と感じています。

### 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか

入庁して数年経ちましたが、県職員の仕事は多岐にわたるため、まだまだ分からない事や、不安な事、問題に直面することもあります。そのような時には、一人で抱え込まず、チームの皆で助け合いながら仕事を進めるようにしています。また、経験豊富な先輩や上司に相談すると、良いアドバイスがいただけるので、とても心強いです。

### 今後実現したい夢はなんですか

岐阜県には川や魚の恩恵を受けた名産品や文化があり、水産資源は漁業者や養殖業者だけでなく、多くの県民にとって貴重な財産です。将来にわたりこの恩恵を受け続けられるよう、水産業界をサポートしていきたいです。

## 理学療法士

障害のある方々の生活等に役立つ  
力添えをしていきたい



**川島 明大**

希望が丘こども医療福祉センター

平成 26 年 身体障害者  
更生相談所  
令和 元年 現所属

### 入庁して考え方が変わったことはありますか

入庁前は、民間の病院に勤務していました。入庁後は、理学療法士として、臨床の現場ではなく、障害者行政の場で働きました。治療の場と違い、患者様一人を考えるのではなく、公務員として岐阜県民全体のことを考える必要があり、自身の発言の重みについて認識させられました。

### 岐阜県の技術職員として働く魅力を教えてください

自身のスキルアップの機会を、所属・職場としてサポートしてもらえることです。臨床から5年弱離れていたこともあり、現所属に異動した際、外部研修への参加の機会をいただきました。私のように行政の現場での仕事をする場合もあり、物事を俯瞰してみる力をつける必要があったため、理学療法士としても一社会人としても成長することができたと思っています。

### 仕事とプライベートをどのように両立されていますか

自分の中で常に余裕を作っておきます。余裕がないときほど、公私混同となりやすいと思っています。仕事が忙しいのは当たり前で、一度に片づけることができる業務とそうでない業務があり、大抵は後者です。私も一時期、休日も無いくらい、業務がありました。その時は、心にも体にも余裕がありませんでした。その業務を終えてから、余裕を持つことに意識をしながら、他の業務をこなしていくと不思議とプライベートを楽しめるようになりました。

### 今後実現したい夢はなんですか

公民両方の現場で働めさせていただいた経験や、自身の持つスキル等を活かし、少しでも障害のある方々の生活等に役立つ力添えをしていきたい。